

A区分・B区分・C区分共通

No.1(実演芸術)

## VI 令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	児童劇
----	----	----	-----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の有無(該当の方を選択してください。)

複数申請の有無	無
---------	---

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
その他を選択した場合	

## 芸術文化団体の概要

制作団体名 ふりがな	こうえきしゃだんほうじん きょういくえんげきけんきゅうきょうかい 公益社団法人 教育演劇研究協会		
代表者職・氏名	代表理事・森下文雄		
制作団体所在地 ふりがな	〒 435-0015 静岡県浜松市東区子安町323-3		
電話番号	053-461-5395	FAX番号	053-461-6378
公演団体名 ふりがな	げきだんたんぽぽ 劇団たんぽぽ		
代表者職・氏名	代表・上保節子		
公演団体所在地 ふりがな	〒 435-0015 静岡県浜松市東区子安町323-3		
制作団体 設立年月	1955年 2月		
制作団体組織 役職員	役職員 代表理事 森下文雄 常務理事 上保正道 理事 鈴木秀志 佐野牧夫 他9名 監事 鈴木登	団体構成員及び加入条件等 (1)団体構成員 個人正会員 43人(うち劇団員31人) 個人賛助会員 63人(うち法人会員4社) (2)加入の条件 法人の目的に賛同し、理事会の承認を得た者	
事務体制の担当	専任	本事業担当者名	上保節子・松下哲子
経理処理等の監査担当の有無	有	経理責任者名	森田美代子(経理) 鈴木登(監査)

制作団体沿革	<p>1945年 長野県篠ノ井町(現長野市)で小百合葉子主宰の児童劇団たんぽぽを発足。</p> <p>1950年 長野県松本市へ拠点を移し、公演は、東京、静岡、岐阜、神奈川へと広がる。</p> <p>1953年 活動の拠点を静岡県浜松市へと移す。</p> <p>1955年 文部省(当時)から児童劇団として初めて公益法人格が許可され社団法人教育演劇研究協会を設立。</p> <p>1963年 復帰前の沖縄公演に出発。沖縄全域120日209公演実施。</p> <p>1966年 北海道に事務所を新設。</p> <p>1972年 長野県に事務所を新設。</p> <p>1986年 沖縄県に事務所を新設。</p> <p>2012年 内閣府より公益社団法人の認定を受け、公益社団法人教育演劇研究協会に移行</p>																
学校等における公演実績	<p>劇団創立以来、公演回数は、延べ44,000回以上を実施。その公演のうちほとんど(約8割)が、学校体育館での公演である。</p> <p>その公演活動範囲は、北海道から沖縄に及び、学校規模も児童数1,000人以上の学校から10人に満たない小規模学校まで、様々行っている。</p> <p>年間公演回数は約350公演。</p> <p>「いのちのまつり」は、平成29年の初演時より、好評を得ており、3年以上に及ぶロングラン作品になっている。この作品での学校公演実績は、380日505公演。(中学校での公演実績も含む)</p>																
特別支援学校における公演実績	<p>平成21年 静岡県文化振興プラン事業「長い長い郵便屋さんの話」 藤枝特別支援学校、静岡南部特別支援学校等8会場11公演(21校) 延べ2,553人</p> <p>平成22年 諫早特別支援学校「100万回生きたねこ」 島原特別支援学校「100万回生きたねこ」 沼津特別支援学校「100万回生きたねこ」 袋井特別支援学校「ふしぎの森のヤーヤー」</p> <p>平成23年 岡崎養護学校「ふしぎの森のヤーヤー」</p> <p>平成24年 袋井市特別支援学校「ズッコケ妖怪大図鑑」</p> <p>平成30年 北海道釧路鶴野支援学校「グリックの冒險」</p> <p>令和2年 岡崎養護学校「おはなしレストラン」</p> <p>令和3年 協和特別支援学校「おはなしレストラン」 旭川養護学校「おはなしレストラン」 白糠養護学校「おはなしレストラン」</p>																
参考資料の有無	<table border="1" data-bbox="377 1412 1440 1992"> <tr> <td data-bbox="377 1412 509 1522" rowspan="4">A</td> <td data-bbox="509 1412 1002 1522">申請する演目のチラシパンフレット等</td> <td data-bbox="1002 1412 1440 1522">有</td> </tr> <tr> <td data-bbox="509 1522 1002 1590">申請する演目のDVDまたはWEB公開資料</td> <td data-bbox="1002 1522 1440 1590">有</td> </tr> <tr> <td data-bbox="509 1590 1002 1680">※公開資料有の場合URL</td> <td data-bbox="1002 1590 1440 1680"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="509 1680 1002 1769">※閲覧に権限が必要な場合のIDおよび パスワード</td> <td data-bbox="1002 1680 1440 1769">ID: _____ PW: _____</td> </tr> <tr> <td data-bbox="377 1769 509 1992" rowspan="3">Aの提出が困難な場合</td> <td data-bbox="509 1769 1002 1859">今回申請する演目に近い演目で公演の様子が わかる内容のDVDまたはWEB公開資料</td> <td data-bbox="1002 1769 1440 1859"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="509 1859 1002 1949">※公開資料有の場合URL</td> <td data-bbox="1002 1859 1440 1949"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="509 1949 1002 1992">※閲覧に権限が必要な場合のIDおよび パスワード</td> <td data-bbox="1002 1949 1440 1992">ID: _____ PW: _____</td> </tr> </table>	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有	申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	有	※公開資料有の場合URL		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよび パスワード	ID: _____ PW: _____	Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子が わかる内容のDVDまたはWEB公開資料		※公開資料有の場合URL		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよび パスワード	ID: _____ PW: _____
A	申請する演目のチラシパンフレット等		有														
	申請する演目のDVDまたはWEB公開資料		有														
	※公開資料有の場合URL																
	※閲覧に権限が必要な場合のIDおよび パスワード	ID: _____ PW: _____															
Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子が わかる内容のDVDまたはWEB公開資料																
	※公開資料有の場合URL																
	※閲覧に権限が必要な場合のIDおよび パスワード	ID: _____ PW: _____															

公演・ワークショップの内容

		【公演団体名】 剧団たんぽぽ		
対象	○	小学生(低学年)	○	
	○	小学生(中學年)		
	○	小学生(高学年)		
企画名	舞台劇「いのちのまつり」～つながるいのち 大切な人～			
本公演演目	本公演演目『いのちのまつり』 原作/草場一壽「いのちのまつり～ヌチヌグスージ～」 (サンマーク出版)脚本/久野由美・松下哲子 監修/ ふじたあさや			
原作/作曲 脚本 演出/振付	演出/大谷賢治郎 人形演出/つげくわえ 音楽/遠山裕 美術/池田ともゆき 衣装/坂本真彩 振付/酒井麻也子 照明/坂本義美 音響/山北史郎 制作/上保節子			
著作権	制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる (制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾状況	
取得予定				
演目概要	<p>【あらすじ】      主人公の和輝(かづき)は、もうすぐ11歳。誰も自分の気持ちをわかつてくれないと、親にも友達にも、毎日イライラ。      そんな和輝からは、友達も離れていく、それにもイライラ。      友達との関係を取り戻したくて、誕生日にみんなが持ってるゲームが欲しいとお願いした和輝。しかし、お父さんが買ってきたのは、ゲームではなく…。イライラが最高潮に達した和輝は、ついに家を飛び出した。      「あー、ムカつく！お父さんもお母さんも、クラスの奴らも、みんなが俺をイライラさせる。みんな大嫌いだ！」      そんな和輝の前に、突然現れたのは、会ったことのない沖縄にいるはずのおじいちゃんだった。      親から子へ、そして孫へ、伝えたかった言葉とは、伝えたかった想いとは？</p> <p>【見どころ】      オーブニングから観客を惹きつけます。ランドセルや傘、手袋などの小道具のみを使った役者たちのマイムで、まるでそこに存在しているかのように子どもの姿が浮かび上がって見えてきます。そこから本編へと誘い、物語は、うまく「ごめんね」や「ありがとう」が言えない子ども同士の関係性、親とのやりとりが、あるあると思われる展開になっています。      また、エンディングで、沖縄の伝統芸能であるエイサー太鼓演奏からカチャーシーを踊る場面は、「生まれててくれてありがとう」「自分たちは、つながってきた命を大切に今を生きているよ」と、命に対する祝祭の意味が込められた力強い舞いの場面で、一番の見どころです。      この作品は、「厚生労働省社会保障審議会推薦児童福祉文化財」の推薦作品であり、原作は、道徳の教科書にも採用されている注目のお話です。</p>			
演目選択理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>原作は、現在、道徳の教科書にも採用され、「いのち」について子どもたちと考える題材として相応しい内容であるということ。</li> <li>自分の命も、周りの命も奇跡のつながりであり、誰もが、「生まれててくれてありがとう」と祝福される、大切な存在であるということを、この作品を通して伝えたい。</li> <li>歌や踊り、パントマイム、エイサー太鼓演奏、人形表現など、芸術的要素が盛り込まれた演出で、子どもたちの想像力や発想力を大いに刺激し、舞台芸術として大変見ごたえのある作品となっていること。</li> <li>幼児から大人まで幅広い年代に好評な作品であり、通常の劇団上演期間を超えたロングラン上演作品として実績を重ねていること。</li> </ul>			
児童・生徒の共演、 参加又は体験の形態	<p>①劇中歌を一緒に歌って、カチャーシーを踊ってみよう！      本番のエンディングで、テーマソング「いのちのまつり」の歌を歌いながら、カチャーシーで踊る場面に参加してもらいます。手拍子や学校で用意できる打楽器(カスタネット)なども使い、全校生徒が、何らかの形で参加できるよう工夫します。</p> <p>②大切な人たちの絵を描いてみよう！      大切な人を思い浮かべて、絵を描いてもらいます。その絵を公演当日、観客席を取り囲むように掲示した中で、観劇します。</p> <p>③学校側の希望により、舞台設営や片付の様子を見学できるようにします。また、終演後、バックステージツアー(舞台裏見学)で小道具や楽器に触れる機会をつくったり、質問コーナーや記念撮影等で、役者たちとの交流を図ります。</p>			
(別添 写真あり)				
出演者	根津 均/秋山友佳/谷本久美/森谷聖/船越 咲/豊島哲也/中嶋渕文 (予定)			
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者: 7 名 スタッフ: 3 名 合 計: 10 名	機材等 運搬方法	積載量: 4 t 車 長: 7 m 台 数: 1 台	

実施に当たっての会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。																										
会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	<table border="1"> <tr> <td>前日仕込み</td><td>無</td><td>会場設営の所要時間</td><td>3</td><td>時間程度</td><td></td><td></td></tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>到着</td><td>仕込み</td><td>本公演</td><td>内休憩</td><td>撤去</td><td>退出</td><td></td></tr> <tr> <td>8時</td><td>8時～11時</td><td>13時～14時</td><td>0分</td><td>14時30分～16時30分</td><td>16時30分</td><td></td></tr> </table> <p>※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。</p>						前日仕込み	無	会場設営の所要時間	3	時間程度			到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出		8時	8時～11時	13時～14時	0分	14時30分～16時30分	16時30分	
前日仕込み	無	会場設営の所要時間	3	時間程度																							
到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出																						
8時	8時～11時	13時～14時	0分	14時30分～16時30分	16時30分																						
児童・生徒の参加可能人数	<table border="1"> <tr> <td>ワークショップ</td><td colspan="5">～500名くらいまで</td><td></td></tr> <tr> <td>本公演</td><td colspan="5">～全校生徒</td><td></td></tr> </table>						ワークショップ	～500名くらいまで						本公演	～全校生徒												
ワークショップ	～500名くらいまで																										
本公演	～全校生徒																										
ワークショップ実施形態及び内容	<p>本公演実施の1ヶ月ほど前に、指導者、補助者併せて3名でワークショップに伺います。基本的には、全校生徒に対して行いますが、学校側との話し合いにより、対象生徒や学年を限定する場合もあります。時間は、2時限を想定しています。1時限目に、声や体を使った表現を楽しむゲームなどを導入部とし、参加場面であるエンディングソングの練習、カチャーシーの稽古へとつなげていきます。2時限目は、大切な人を思い浮かべて、絵を描いてもらいます。(内容詳細 別添あり)</p>																										
ワークショップ実施形態の意図	<p>本番に参加するために、劇中歌やカチャーシーを練習することで、公演に対する興味や期待を高めます。また、この舞台と一緒に作り上げる意識を持たせることができます。絵を描くワークショップでは、自分が、どんな人たちに囲まれて生きているのか、改めて感じるきっかけになります。どちらのワークショップも物語の内容と結びついて、より公演を身近に感じてもらうねらいがあります。</p>																										
特別支援学校での実施における工夫点	<p>実施校の先生方のニーズを尊重し、学校側が抱えている課題に沿って、臨機応変に対応いたします。歌の部分で、声を発してもらったり、ボディーパーカッションや音の出る楽器で参加してもらったり、音楽に合わせて体を揺らしてもらったりと、表現することを楽しみながら観劇できる工夫をしていきます。</p>																										
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。																										

リンク先	No.2	【公演団体名】	劇団たんぽぽ	】
項目内容 児童・生徒の共演、 参加又は体験の形態	<p>①劇中歌と一緒に歌って、カチャーシーを踊ってみよう！</p> <p>本公司のエンディングの場面へ参加してもらいます。このシーンは、おじいちゃんのお葬式の後、家族や親せきが集まっているというシーンですが、「自分の中には、ご先祖さまから受け継いできた命がつまっている。今、生きている自分たちが笑顔で元気にしていることが、一番おじいちゃんやご先祖様たちが喜ぶことなんだよ」と伝えるために祝祭をあげるシーンです。出演者と児童生徒が一緒になって元気に生きている喜びを表現します。</p>  <p>②大切な人たちの絵を描いてみよう！その人たちに囲まれて劇をみよう！</p> <p>ワークショップ時に子どもたちに描いてもらった絵を、公演当日、張り合わせ、観客席に広げて展示します。数えきれないほどの命がつながって自分たちがいると感じてもらしながら観劇します。そのなかで、生徒全員が「いのちのまつり」を歌ってエンディングを迎えます。最終的に巡回校全部の絵が掲示されます。</p>  <p>③終演後のバックステージツアーの様子</p> 			

リンク先	No.3	【公演団体名】	劇団たんぽぽ	】	
項目内容 ワークショップ 実施形態及び内容	ワークショップ実施形態及び内容	<p>●ワークショップ実施形態及び内容</p> <p>ワークショップは、基本的に全校生徒に対して行いますが、学校側との話し合いにより、対象生徒を学年単位や、3年生以上などに、限定する場合もあります。</p> <p>共演するための稽古や歌の稽古だけでなく、子どもたちが、表現することを楽しみながら、周りとのコミュニケーションが図れるよう、発声や身体表現指導を行います。そして、観劇に対する興味を喚起します。</p> <p>ワークショップの時間は、基本的に2時限分を想定していますが、学校側の実態に沿って臨機応変に対応いたします。</p> <p>【事前準備】物語の台本や歌詞、音楽CDを各学校に配布します。台本は、先生方に作品の内容をイメージしてもらうためのものです。休み時間を利用し、歌を周知していただきます。</p> <p>【ワークショップ当日】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容を伝え、上演作品について説明し、物語の内容やこの作品ができるまでの説明をする。</li> <li>・大きな声の出し方や体を使った表現を楽しむ。(シアターゲーム等)</li> <li>・エンディングソング「いのちのまつり」を全員で歌う。</li> <li>・カチャーシー場面の稽古。みんなで音楽に合わせて、太鼓やカスタネット等の学校にある楽器や自分で考えた音の出るものを使って音を出したり、指笛をふいたりと、自分たちが今ここに元気で生きているよということを伝えるような表現を体験する。</li> <li>・楽器を持たない児童生徒は、「いのちのまつり」の歌を歌いながら、手踊りを交え、自由に体を動かす。楽しさを言葉ではなく、体で表現しながら、子どもたち同士で「一緒に楽しもうよ」というコミュニケーションが図れるようにする。</li> <li>・絵を描くワークショップでは、長い歴史の中、たくさんの命がつながって生まれてきたみんなは、誰もが大切な存在であることを伝えながら、自分の大切な人を思い浮かべ、絵を描いてもらいます。これまで、ほとんどの児童が、時間内に書き終えることができています。</li> </ul> <p>●ワークショップ実施形態の意図</p> <p>作品の内容が、生きている喜びを伝え、感謝するというテーマであるため、ワークショップを通して、表現する喜びと、気持ちを伝えることの大切さに結びつけ、指導していくたいと思っています。事前に音楽CDを送ったり、作品の説明や、物語の内容を伝えることで、公演に対する興味や期待を高めます。</p> <p>全員で歌う劇中歌やカチャーシーの練習では、この舞台をみんなで作り上げる意識を高める意図があります。また、カチャーシーには、「喜びも悲しみもかき混ぜて、みんなで分からち合いましょう」という思いが込められています。その思いを伝え、お互いにコミュニケーションを取りながら、同じ空間を仲間と楽しんでもらいたいと思います。</p> <p>歌を上手に歌うことや踊りを上手に踊ることではなく、その歌詞や場面に込められた意味を捉えながら、命を繋げててくれた多くの人たちに届けたいと思う気持ちが大切だという事を伝えるため、手拍子や楽器、体を動かすだけの参加もできるようにします。みんなで、この演劇に参加するという意識が持てます。</p> <p>自分の家族やご先祖様の顔(想像)、友達など、大切な人を思い浮かべて、絵を描いてもらうワークショップでは、自分が、どんな人たちに囲まれて生きているのか、改めて感じるきっかけになります。それが、物語の内容と結びついて、より公演を身近に感じてもらうねらいがあります。これまでに、亡くなってしまった祖父母や、これから生まれてくる兄弟(赤ちゃん)、いつも一緒に遊ぶ友達等の絵を描く子も居り、子どもたちの中で、様々な大切な人を考えるきっかけになっていると感じています。</p>			

## (キャスト・スタッフ表)

## キャスト

(キャスト・スタッフ表)

風組	職名	氏名	生年月日	年齢	採用年月日	在職年数	備考
1 責任者	根津 均	S28.08.19	67	S52.06.18		45	
2 副責任者	秋山 友佳	S63.06.14	33	H25.04.03		9	
3	久哲也	S63.06.23	33	H26.10.16		7	
4	豊島本谷	S41.12.22	54	H30.10.01		3	経験10年加味
5	聖暁	H8.12.27	24	H31.03.20		3	京都造形芸術大学卒
6	森谷	H11.08.05	22	R2.03.26		2	東京工学院専門学校卒
7	船越	H13.11.19	19	R3.05.31		1	
	中嶋						
	根津						
	秋山						
	豊島						
	本谷						
	聖暁						
	森谷						
	船越						
	中嶋						

## スタッフ

職名	氏名	生年月日	年齢	採用年月日	在職年数	備考
1 舞台監督	上保 節子	S19.11.03	76	S40.03.01	57	
2 照明	上藤 真智子	S41.09.21	54	S59.04.01	38	
3 音響	青木 美津代	S44.04.14	52	H4.07.01	30	

## ワークショップ

職名	氏名	生年月日	年齢	採用年月日	在職年数	備考
1 主講師	上保 節子	S19.11.03	76	S40.03.01	57	
2 助手	豊島 哲也	S41.12.22	54	H30.10.01	3	
3 助手	青木 美津代	S44.04.14	52	H4.07.01	30	

※基準在職年数は、当該年度の算出基礎（上限50年）となるもので、3月以前の入団は1年とみなす



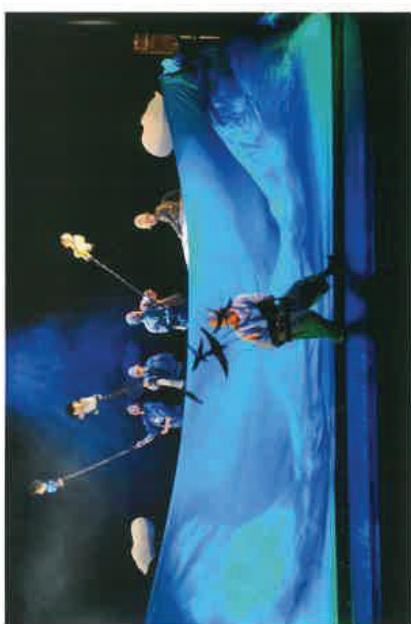
『いのちのまつり』は…  
小学校の道徳の副読本としても  
使われています！！

劇団たんぽぽは・・・

2004年に第1作『いのちのまつり』が出版され、過去から未来へ続くいのちをテーマに描かれた「いのちのまつり」シリーズは累計35万部を突破し、道徳の副読本として採用され、小学校の授業でも使われています。また、英語、中国語などに翻訳され、海外数か国でも出版されています。今回劇団たんぽぽでは、「つながってる」「おかげさき」「かがやいてる」「みらい」を加えた全作品より構成し、舞台化しました。

劇団たんぽぽは・・・

「子どもたちに夢を」。1946年、長野県篠ノ井で小百合葉子主宰の児童劇団として発足。リュックを背に巡回公演はじまる。1953年、静岡県浜松市に移る。1955年、山間僻地の子ども達への児童演劇の普及、公演を続けた活動を評価され、文部省（当時）から公益法人格が許可され、社団法人教育演劇研究協会を設立。北海道から沖縄まで、主に小・中学校の演劇教室で公演。その他にも「教師のための朗誦勉強会」や「教育現場での表現活動」、「演劇ワークショップ」「クリスマス公演」など、教育演劇研究協会としての働きが活発化している。2012年、公益認定が受理され、公益社団法人として新たな一步を踏み出す。



劇団創立70年 北は北海道から南は沖縄まで42,000回公演！

公益社団法人 教育演劇研究協会

本 部 ☎ 053-461-5395  
<http://www.gekidan-tanpopo.com/> [E-mail] tanpopogekidan-tanpopo.com  
長野県事務所 ☎ 090-0877  
北海道事務所 ☎ 03-0863  
沖縄県事務所 ☎ 900-0006

公益社団法人 教育演劇研究協会

劇団 **たんぽぽ**

原作／草場一壽  
脚色／久野由美・松下哲子 監修／ふじたあさや 演出／大谷賀治郎  
絵：平安座資尚 ©サンマーク出版



# いのちのまつり

原作／草場一壽「いのちのまつり」(サンマーク出版 絵／平安座資尚)

脚色／久野由美・松下哲子 監修／ふじたあさや 演出／大谷賢治郎 人形演出／つげくわえ  
音楽／遠山裕 美術／池田ともゆき 衣装／坂本真彩 振付／酒井麻也子 エイサー振付・監修／島袋拓也  
照明／坂本義美 音響／山北史郎  
制作／上保節子

ひとりじゃない!  
すべてのいのちがつながり、  
かかわりあって生きていく!



力一坊はもうすぐ11歳。  
なぜかいつも、思いどおりにいかないことが多い。  
どうしてだれも、ぼくの気持ちをわかってくれないので?  
楽しみにしていた誕生日にも、ほしかったものがもらえなくて、力一坊は家をとび出した!

「あー、ムカつく！お父さんもお母さんもクラスのやつらも、みんながおれをライラさせる。みんな、大っきらいだー！」  
そんな力一坊の前に突然あらわれたのは・・・。

親から子へ、そして孫へ、つながっていく“いのち”的物語。

ひとりじゃない!  
めぐりめぐつて生まれるいのち  
めぐりめぐつてつながる想い。

「ヌチヌクスージ」とは、沖縄の方言で“いのちのお祝い、いのちのお祭り”という意味です。始まりも終わりもない悠久の時の流れのなか、広大無限な生命のつながりが今ここにある——。自分自身が尊勝の存在であること、与えられた生命を光り輝きながら共に生きぬくことが、「ヌチヌクスージ=いのちのまつり」であるという想いを絵本に込めました。

原作／草場一壽「いのちのまつり」より

## 70周年にふさわしい偶然

監修 ふじたあさや

「劇団たんぽぽ」が誕生して70年になる。その節目を記念する公演に、草場一壽さんの絵本『いのちのまつり』が選ばれたのは、たまたま企画者の目に触れたという偶然の産物だが、舞台化してみると、それはいかにも「劇団たんぽぽ」の70周年にふさわしい選択だった。第一、祖父から父、父から子へと（いのち）の連鎖を描いたこの本は、小百合葉子さんに始まって二世代め、三世代めと受け継がれてきた「たんぽぽ」の歴史と重なるものがある。そのテーマを、たんぽぽの綿毛になぞらえるところなどは、おあつらえ向きもいいところだ。テーマを展開する舞台に沖縄を置んでいるところも、本土復帰以前の1960年代から沖縄公演を種み重ねてきた「劇団たんぽぽ」にふさわしい。ここでみると、偶然でありながら、必然であったような気がする。

偶然でありながら、必然であつたと言えることがもう一つある。それは今回の演出者・大谷賢治郎との出会いである。相性が良かったのだろう、「たんぽぽ」の歴史の新しいページがここから始まりそうな予感がある。

## いのちのバトン

演出 大谷 賢治郎

世代は常に受け継がれていく。そしてそれを生きる子どもたちである。まさにこの作品のテーマでもある。その子どもたちに70年もの間、演劇を見せて続けてきた「劇団たんぽぽ」を心から尊敬する。彼らはどんな困難な状況にあっても、最初に「子どもありき」の姿勢を貫いてきた。70周年記念公演の演出を任せられたこと、また歴史ある劇団において未来の児童演劇を開拓していくためのバトンを渡されたことをより嬉しく思う。しっかりと「いのちのバトン」をつないでいきたい。



【令和4年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	C34	分野	演劇	種目	児童劇	ブロック	C	区分	A区分
公演団体名		劇団たんぽぽ			制作団体名		公益社団法人 教育演劇研究協会		

## ① 会場条件等についての確認

## 会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	概ね1.5m	高さ	概ね1.8m
搬入車両の横づけの要否		要(出来る限り横づけを希望)		
横づけができない場合の搬入可能距離		50mくらいまでが望ましい。		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

